

令和 6 年度第 1 5 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和 7 年 1 月 8 日（水）	午前 9 時 3 0 分
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第 1 5 回定例会議事日程

- 1 日 時 令和 7 年 1 月 8 日（水）午前 9 時 3 0 分
- 2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・第 4 委員会室
- 3 会議に付すべき事件

第 1 第 4 6 号議案 八王子市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正
する規則設定について

4 報告事項

- ・令和 6 年度優良 P T A 文部科学大臣表彰に係る被表彰団体の決定について
(地域教育推進課)
- ・令和 6 年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に
係る文部科学大臣表彰の被表彰取組の決定について (地域教育推進課)
- ・令和 6 年度（2 0 2 4 年度）3 学期における給食食材費の物価高騰対応につ
いて (学校給食課)
- ・第 1 7 回キャリア教育優良教育委員会、学校及び P T A 団体等文部科学大
臣表彰に係る被表彰校等の決定について (教育指導課)
- ・令和 6 年度東京都教育委員会職員表彰の被表彰者の決定について
(教職員課)
- ・「外国語ガイドボランティア育成事業」の実施状況について (文化財課)
- ・第 4 回「本の P O P コンテスト」の実施結果について (図書館課)

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	保 坂 暁 子
委 員	伊 東 哲
委 員	守 屋 香 里
委 員	田 中 雅 美

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	松 土 和 広
学校教育部指導担当部長	上 野 和 広
学校教育部学校施設整備担当部長	八 木 忠 史
教 育 総 務 課 長	長 井 優 治
地 域 教 育 推 進 課 長	高 橋 健 司
学 校 施 設 課 長	武 井 博 英
学 校 給 食 課 長	東 郷 信 一
学 務 課 長	中 野 みどり
教 育 指 導 課 長	古 川 洋一郎
特別支援・情報教育担当課長	遠 藤 徹 也
教 職 員 課 長	櫻 田 俊 二
統 括 指 導 主 事	狩 野 貴 紀
統 括 指 導 主 事	志 村 亮 介
統 括 指 導 主 事	福 島 裕 子
生涯学習スポーツ部長	平 本 博 美
生涯学習スポーツ部スポーツ担当部長	佐 藤 晴 久
日本遺産推進担当課長	塩 澤 宏 幸
生 涯 学 習 政 策 課 長	田 島 裕 子
放 課 後 児 童 支 援 課 長	倉 田 直 子
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	吉 森 研 吾
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 課 長	佐 取 久 満
学 習 支 援 課 長	松 井 洋 一
文 化 財 課 長	叶 清
こ ど も 科 学 館 長	飯 塚 由 則
図書館課長兼八王子市図書館長	堀 内 栄 史
図 書 館 分 館 担 当 課 長	鈴 木 秀 吾
教育指導課指導主事	山 崎 晃 司
教育指導課指導主事	上 田 隆 司

地域教育推進課課長補佐兼主査
地 域 教 育 推 進 課 主 査
教 育 指 導 課 主 査
教 育 指 導 課 指 導 主 事
教 職 員 課 主 査
文 化 財 課 主 査
教 育 総 務 課 主 査
教 育 総 務 課 主 任
教 育 総 務 課 主 事
教育総務課会計年度任用職員

上 奥 健 二
渡 辺 巧
金 子 江理子
安 東 奈 々
石 渡 正 起
平 井 健太郎
堀 口 慎 矢
田 中 美 緒
手 塚 早 紀
羽 山 あゆ美

【午前 9 時 3 0 分開会】

○安間教育長 大変お待たせをいたしました。本日の出席は 5 名でございますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

これより令和 6 年度第 1 5 回定例会を開会いたします。

初めに、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、伊東哲委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事でございますが、会議時間の短縮のため、報告事項「第 4 回「本の P O P コンテスト」の実施結果について」は、資料配布のみの報告といたしたいと思っております。また、報告事項「令和 6 年度（2 0 2 4 年度）3 学期における給食食材費の物価高騰対応について」は、いまだ意思形成過程のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項及び第 8 項の規定により、非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御異議ないものと認めます。

それでは、議事を進行いたします。

-----◇-----
○安間教育長 日程第 1 第 4 6 号議案 八王子市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則設定について、を議題に供します。

本案について、教育指導課から説明願います。

○古川教育指導課長 それでは、第 4 6 号議案八王子市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則設定について、担当の金子主査より御説明申し上げます。

○金子教育指導課主査 それでは、第 4 6 号議案八王子市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則設定について御説明いたします。

これは小中一貫校の名称に関するもので、議案のとおり、八王子市立第二小学校

と八王子市立第四中学校を、小中一貫校、八王子市立たがの杜小中学校という名称にすることから、規則の一部を改正するものでございます。本市の小中一貫校は、みなみ野小中学校、加住小中学校、館小中学校の3校に、4月よりたがの杜小中学校が加わり4校となります。

説明は以上となります。

○安間教育長 只今、説明は終わりました。

本案について、御質疑、御要望等はありませんか。

私のほうから1点確認なのですが、そうすると来年になったら、これが「たがの杜義務教育学校」というように規則改正をするという流れになるわけですね。

○金子教育指導課主査 義務教育学校になった際には、また規則改正をいたします。

○安間教育長 それに付随して、みなみ野小中学校、加住小中学校、館小中学校の扱いなのですが、そろそろ検討を始めていただいて、校舎一体型にもうほぼなっているわけですから、これはもう整理のために、義務教育学校という名称に、単に建物だけの名称で言っているわけだから、その辺りの検討も始めてもらいたい。来年また、この改正の時には、その辺りの議論の結果も踏まえた提案をしてもらいたい。来年度は良いですから、これで。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御質疑ないようでございますので、本案についての御意見をいただきたいと思います。

こちらもよろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、お諮りをいたします。

只今議題となっております第46号議案については、提案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御異議ないものと認めます。

よって、第46号議案については、そのように決定することにいたしました。

-----◇-----

○安間教育長 続いて、報告事項となります。

地域教育推進課から報告願います。

○高橋地域教育推進課長 それでは、令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰に係る被表彰団体の決定について、御報告を申し上げます。

詳細は、渡辺主査が説明を行います。

○渡辺地域教育推進課主査 それでは御報告させていただきます。

お手元の資料を御覧ください。1趣旨、本件は優秀な実績を上げている小学校・中学校・義務教育学校、特別支援学校、私立幼稚園、認定こども園のPTAを表彰するため、文部科学省で行っている表彰制度において、本市市立小学校のPTAが被表彰団体として決定したため、報告するものでございます。

2被表彰団体は城山小学校PTAでございます。なお、本市PTAでは、令和4年度から3年連続の表彰となります。

受賞に至る推薦の理由といたしましては、令和6年度教育委員会第3回定例会にて説明しておりますので、資料には記載しておりませんが、主な取組として口頭にて3点御説明をいたします。1点目は交流の充実です。子どもたち、保護者、教師と一緒に楽しめる様々なイベントを実施することによる、交流の場の充実です。続きまして2点目は、運営の効率化です。共働き家庭に配慮し、誰でもできるPTAを目指し、「できる人が、できることを、できる時に」をモットーに、会議のオンライン化やイベント参加集計などをデジタルツールの活用により、先生を含めた負担軽減制度運営の効率化を図りました。3点目は地域との協力です。青少年対策地区委員会や近隣小・中学校と協力し、クリーン活動による通学路及び学校の清掃活動の実施、また炊き出しによる地域防災訓練を実施するなど、地域との結びつきをより強くした結果、このような取組や活動が認められました。

3決定に至る経過については、お手元の資料のとおりとなります。

なお、今回の受賞は全国で112団体、都内では城山小学校PTAを含め5団体が被表彰団体として決定しております。

4今後のスケジュールにつきましては、2月28日、文部科学省にて表彰式典が開催される予定となっております。

報告は以上となります。

○安間教育長　　只今、報告は終わりました。

本件について、御質疑、御意見、御要望等はありませんか。

○伊東委員　　御説明ありがとうございました。城山小学校の表彰につきましては、本当に心からお祝いを申し上げたいと思っております。

このような表彰については、過去に、例えば10年間ぐらいで、本市ではどのような学校がこういったPTAなど、あとはいろんな表彰があるのですけれども、10年間ぐらいの中で表彰があったかどうかなど、そのような記載もしていただけるとありがたいと思っております。城山小学校はよく名前が出てくるのですけれども、ほかの学校はどうなのか、その辺りについても知りたいところであります。

それと、今、御説明にありました表彰の理由ですね。交流の充実や運営の効率化、地域との協力といった、なぜ表彰されたのかという背景などをやはり明記して、市民に周知していただく必要があるのではないかと思います。そういったことをすることによって、他の学校の団体に対しても情報提供できるのではないかと思いますので、その辺りについて要望させていただきたいと思っております。

○安間教育長　　ほかにございましょうか。

○守屋委員　　御説明ありがとうございます。城山小OBとして、とてもうれしく思っています。この都に上げる段階でも、とても担当者の方、おそらくこちらの資料を提出した後に都とのやり取りが、短期間で何度もされたかと思うのですが、本当にどうもありがとうございました。おそらく、その資料の作成によって大分見え方のようなところも変わってくるということも、ここ過去2年間ずっとありましたので、本当に担当の方と二人三脚で取れた賞なのではないかと思っています。

昨年、2年連続で八王子市が取れた時も、やはり2年連続は難しいのではないかと考えていたのですが、まさか今回、3年連続で八王子市が取れたということはとても喜ばしいことで、本当に八王子市としてもPTA団体としてもとても誇りになることだと思っています。伊東委員からもおっしゃっていただいたように、これP連に関連した学校が推薦させてもらえるというところにあるので、小・中のP連の中でも、しっかりこのような形で、去年2年間は中学校から連続して八王子の代表に出させていただいていたので、そこもしっかりと、このようなことが元で取れたということを仲間同士でもしっかり周知していきたいと思っています。会長さんと

お話をしたら、「来年城山小が50周年になるので、PTAとしてももうちょっと勢いに乗れます」ということで仲間たちもとても喜んでいたので、このような良いところや、ほかがまねできるようなところは、活気づけていけるように励めるようにしたいと思っています。御担当者の方も併せて、どうもありがとうございました。

○安間教育長 エールでございました。

ほかにございましょうか。

それでは私から1点。これだけにかかわらず申し伝えておきたいので、皆様に少し心がけてもらいたいのですが、「前回やりました」ではなくて、当然出てくる質問ですから、これまでの経緯などは。そして、今回は出るかと思ったら出ませんでした、もう何回も聞いていることですからね。中学校、中学校と来て、小学校になったのはなぜと、今年、中学校は何で出さないのと、そのようなことも「前にやりました」ではなくて、その時の資料をコピペすれば良いだけの話でしょう。過去はどのような状況だった、そして、どのような経過で中学校ではなく今年は小学校なのだということを、少し付け加えたような資料にしてもらいたい。この件だけではなく、教育委員会定例会に出す資料というのはオープンになるものですから、ぱっと見た市民に「昔説明しましたよね」とは言えないでしょう。だから、当然出てくる疑問については、書き込んでおくこと。これを今後全てのこういった資料で心がけてもらいたい。よろしくお願ひしたいと思います。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、報告事項として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 引き続き、地域教育推進課から報告をお願いします。

○高橋地域教育推進課長 続きまして、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の被表彰取組の決定について、報告申し上げます。上奥課長補佐より説明いたします。

○上奥地域教育推進課課長補佐兼主査 初めに、本表彰についての説明をさせていただきますので、資料の1趣旨を御覧ください。本表彰は、コミュニティ・スクール（地域運営学校）と、地域学校協働活動の一体的実施によって、学校運営の改善・強化

のみならず、学校を核とした地域づくりにも効果を上げている取組の中から、ほかの模範になると認められた取組を表彰するものです。2年に1回の表彰でございまして、今回のような一体的推進による表彰は前回は初めてだったのですが、前回の表彰ではいずみの森義務教育学校の取組が受賞しておりまして、2回連続での受賞ということになります。

2 被表彰取組を御覧ください。今年度被表彰取組として決定した取組は、松木中学校と松木中学校の地域学校協働本部による地域とのつながりによって、多様な生き方を知り、自己肯定感を高め、地域に貢献する生徒の育成、そして学校に行きづらい子どもたちの居場所づくりの取組になります。なお、全国で107の取組が今回表彰対象となっておりますけれども、その中から5つ選ばれております、優秀賞という特に優れた取組に今回は選定をされました。

選定に至る経緯について、御説明させていただきます。次のページ、3 経緯を御覧ください。松木中学校は平成22年に学校運営協議会を設立いたしまして、コミュニティ・スクールへと移行しております。これまでに地域学校協働本部とともに、学校外の子どもの居場所「ぬくぬく」や、校内で子どもたちが十分楽しく遊べるように放課後の「七色カフェ」、不登校の影響のある子の保護者の方同士の交流の場である「緑の会」、また地域の大人の方と中学生がともに作り上げている一大イベントとなっております「浄瑠璃祭り」など、そういった様々な学校を核とした地域づくりにつながる取組を実施されていまして。これらの活動が非常に評価されまして、今年度は文部科学省が主催するフォーラム等で登壇する機会も増えており、それに伴いまして静岡県や大分県など、全国から視察が訪れておるなど、注目度が高まっていたところでございました。その点もございまして、本表彰の被表彰対象候補の推薦に当たりましては、文部科学省のほうから推薦対象候補として選定をされ、今回の決定に至ったという次第でございます。

最後に、今後のスケジュールについてですが、先ほどの優良PTAの表彰と同じ、2月28日に、同じく文部科学省にて式典が開催される予定となっております。

報告としては以上となります。

○安間教育長 只今、報告は終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はございますか。

○伊東委員 御説明ありがとうございます。こちらにつきましても、先ほどの件と同様に、大変喜ばしいことだと思っているところでもあります。学校経営や学校の組織マネジメントといった観点から、学校と地域が協働をする、地域の力を借りる、学校と地域との連携という、この考え方というのは、これからの学校づくりには欠くことのできないもので、その考え方の1つがコミュニティ・スクールであり、地域学校協働活動協働本部だと思っています。そのような意味では、これは松木中学校やいずみの森義務教育学校だけではなく、やはり本市の小・中学校全校が、このことについて取り組んでいただいているところだと思うのですが、松木中学校やいずみの森義務教育学校が非常に際立って、良いのかどうなのか分からないのですけれども、その全体的な、本市全体のコミュニティ・スクールのレベルという変なのですが、活動状況や地域学校共同活動の状況など、この辺りについての何かレベルというのですかね、松木中に比べてどうなのか、いずみの森に比べてどうなのかなど、この辺りが気になるところで、連続して同じ学校が互い違いに表彰されるというようなことが良いかどうか、実際は良いのでしょうかけれども、ほかの学校についても頑張っていたきたいと、そのような思いはあるのですが、その辺りについての情報があれば教えていただければと思います。

○高橋地域教育推進課長 ありがとうございます。委員のおっしゃるように、いわゆるコミュニティ・スクールについても、運営については市内の中でもやはり温度差が生じているというのが現状であります。これは地域の皆様の体制であったり、学校の運営体制であったりと、理由としては様々になるのですが、ただ、この温度感はしっかり合わせていかななくてはいけない、レベルアップを図っていかななくてはならないということもございまして、年に2回、学校運営協議会の情報連絡会というもの主催しております。これは全ての小・中・義務教育学校の学校運営協議会の会長さんの集まりでして、そこで多くのワークショップ等を行い、意見交換を行う中で、レベルアップを少しでも図っていくということで毎年実施をしております。今年は2回目が今月行われますので、この表彰の取組の内容についても発表させていただくなど、情報の共有化を図るとともに、いわゆるレベルアップにつながるようなテーマでワークショップを行うなど、工夫を凝らしていきたいと考えております。

○伊東委員 御説明ありがとうございます。今お話をいただいたように、情報をしっかり

り把握していただけると良いかと思うのですが、それと併せて、やはりうまくいっていないところについては、例えば、教育委員会としてどのような支援ができるのか、あるいは教育委員会全体で、どこの課どこの部ということではなくて、何が課題なのか、それぞれの学校の課題はこのコミュニティ・スクールや学校、地域との連携に関わる問題に関して、どういった課題があるのか、そういったものを色々な視点の中から分析をして、とにかくこのコミュニティ・スクールや地域学校協働活動というのは、これからのマネジメントとしては核になる考え方だと思いますので、これについての分析とその課題に対する評価や支援、こういったことをしっかりとやっていただく必要があるのではないかと私は思っているのですが、その辺りはいかがでしょうか。

○高橋地域教育推進課長 一例を申し上げますと、毎年11月をめぐって、各学校運営協議会に私ども学校教育部等の管理職が傍聴に行かせていただいています。そこで、その議論の内容などを拝見させていただく中で、課題等は抽出しているところでございます。101協議会でございますので、なかなか1年間で全ての協議会を回ることとはできませんが、毎年お出しいただいている実績報告書や活動事例集、そのようなところからもどこに課題があるのか、どこを直せば良いのかということはしっかりと見つけていって、定量化する中で課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えております。

○伊東委員 了解いたしました。市教委としての今後の対応の仕方については、了解いたしました。いずれにいたしましても、学校と地域の連携というのは非常に重要で、この連携の良し悪しで学校の学校運営、学校経営というものにも非常に影響があると思っていますので、先ほど私がお話をさせていただいた内容について、引き続き取り組んでいただければありがたいということを要望させていただきます。

○安間教育長 ほかにございましょうか。

この文科省の表彰というのはいつから始まったのですか。

○上奥地域教育推進課課長補佐兼主査 この名称になりましたのが、令和4年度からでございます。

○安間教育長 ありがとうございます。そういったこともちらっと書いておくと良いのかもしれないですね。初年度からうちは受賞していて、2年に一度だから連続とい

うことですよね。その辺りも必要な情報として入れると良いかと思います。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、本件も報告として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 続いて、教育指導課から報告願います。

○福島統括指導主事 令和6年12月、第17回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰において、八王子市教育委員会が被表彰団体として決定いたしましたので御報告いたします。

詳細について、安東指導主事より説明いたします。

○安東教育指導課指導主事 キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰は、文部科学省が平成18年度よりキャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会、学校及びPTA団体等を文部科学大臣より表彰しているものになります。本市教育委員会が東京都教育委員会より推薦され、被表彰団体として決定した経緯については、4経過に記載してあるとおりです。

別紙1は、本市を含めた表彰団体等の一覧です。

別紙2は、今回推薦された理由となる本市のキャリア教育の主な取組3点、(1)はちおうじっ子「キャリア・パスポート」の作成と全校配付、(2)八王子青年会議所と連携した「キラキラまちしごと」事業の実施、(3)東京八王子南ロータリークラブと連携した職場体験の実施です。詳細は記載されている内容を御覧ください。

今回の表彰を励みに、今後も小中一貫教育グループにおいて、はちおうじっ子「キャリア・パスポート」を活用した、義務教育9年間を見通したキャリア教育を推進していきたいと考えています。さらに、八王子青年会議所の皆様、東京八王子南ロータリークラブの皆様の御理解・御協力を賜りながら、特別な支援が必要な生徒や不登校傾向等にある生徒にも安心して職場体験を行うことができる機会を提供し、活動を通して達成感を味わわせるとともに、地域の方々と関わりながら働く喜びや自己有用感を高め、意欲的に自らの生き方について考えられるようなキャリア教育を実施していきたいと考えています。

私からの説明は以上となります。

○安間教育長 説明は終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はありませんか。

○伊東委員 度々申し訳ありません。この表彰、大変うれしいですね。2020年ですか、新しい学習指導要領、現行学習指導要領が完全実施になるときにキャリア・パスポートを入れることになったわけですが、今の上野指導担当部長が上野統括の時に、突貫工事でこのキャリア・パスポートを庁内印刷で作って、それでかなり無理を言って作っていただいた記憶があるのですね。そのような経緯ですので、全校がこのキャリア・パスポートを、おそらくどこの区市よりも早く八王子は実施できたのではないかと考えています。上野部長、本当にうれしいですね。そのような取組の上で始まったキャリア・パスポートですので、ぜひこれを形骸化することなく、子どもたちの学びの振り返りということで、特別活動の中核とした各教科等の学力向上に向けた取組にもなるわけですので、キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の一層の充実に、これを機会にさらに励んでいただければと思っています。

以上です。

○安間教育長 ありがとうございます。ほかにございましょうか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 1点だけ。平成18年度から国がやり始めたということですが、八王子市が表彰されたのは初めてということですね。そのようなことも一言入れるとすばらしい。平成18年度からと言った時には、ちゃんと聞いていたと思ったのですが、そのようなこともちらっと入れて報告をしてください。

よろしければ、報告として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 続いて、教職員課から報告願います。

○櫻田教職員課長 令和6年度東京都教育委員会職員表彰の被表彰者の決定につきまして御報告いたします。詳細は担当の石渡主査から御報告いたします。

○石渡教職員課主査 それでは御報告いたします。

本件は令和6年6月22日開催の教育委員会定例会にて議決をいただき、東京都に推薦をいたしました令和6年度東京都教育委員会職員表彰の候補者につきまして、

去る１２月１９日、被表彰者が公表されましたので、報告するものでございます。

被表彰者は、（１）管理職として由井第一小学校緒方礼子校長、（２）教職員４５歳以上として陶鎔小学校竹村大介主幹教諭、（３）教職員４５歳未満として宇津木台小学校河村優詞主任教諭、いずみの森義務教育学校（後期課程）高橋直也主幹教諭、（４）団体表彰として八王子市立陶鎔小学校、以上、個人４名、団体１団体となります。それぞれの主たる功績は記載のとおりでございます。

なお、表彰式につきましては、１月１７日金曜日、東京都庁にて開催される予定でございます。

報告は以上となります。

○安間教育長　報告は終わりました。

本件について、御質疑、御意見、御要望等はございますか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長　改めてですけれども、皆様方にお祝いを述べたいと思います。

それでは本件、報告として承らせていただきます。

-----◇-----

○安間教育長　続いて、文化財課から報告願います。

○塩澤日本遺産推進担当課長　昨年９月に開催されました教育委員会第９回定例会におきまして、御報告いたしました「外国語ガイドボランティア育成事業」につきまして、１２月をもって終了しております。その実施状況につきまして、担当の平井主査より御報告いたします。

○平井文化財課主査　令和６年９月１８日開催の定例会において報告しました「外国語ガイドボランティア育成事業」につきまして、実施状況の報告をいたします。

２事業概要につきましては、前回の説明のとおりなのですが、今年度初めての取組としまして、高尾山口駅前外国人観光客を対象に、中高生が英語で日本遺産などを活用したガイド活動を実施するという事業でございます。

３実施状況を御報告いたします。申込人数は２０名で、中学生１４名、高校生６名ということで、このうち八王子市立の中学校の生徒さんが１３名、重複していますが、スピーチコンテストの経験がある方が１０名、または海外青年派遣事業に参

加された方が4名いらっしゃいました。また、活動に当たり、教員の方6名にサポート役として御協力いただいております。

(2) スケジュール及び参加人数ですが、10月14日に日本遺産と英語によるガイド活動の方法についての研修会を行いまして、また、11月4日に日本遺産構成文化財などの見学会を行いました。ガイド活動は、11月9日から12月1日にかけて毎週土日に行いまして、8日間で全16回、延べ62名の生徒さんに参加いただきました。12月14日には、成果報告会を実施したところでございます。

次に(3)実績と、次ページ以降の(4)生徒の声のまとめですが、少々多いので割愛しますと、8日間の活動を通じまして、約400組700名の外国人の方に声掛けできたという点については、八王子のことをPRするという点で大変大きな成果があったと考えております。また、生徒さんにつきましては、生の英会話を使うことができたということで大変喜んでいただけたということと、生徒さんの大変積極的に活動に取り組む姿勢というものが目立ちました。また、活動を通して生徒さん自身が文化の違いなど、色々なことに気づいたり、御自身が住む八王子の歴史文化について関心を高めてもらえたというのは、大変大きな成果であったと考えております。

最後のページの4今後に向けた課題についてですが、もう少し参加のハードルを下げて、意欲のある生徒を広く募集した方がよいのではないか、あるいはスケジュールなどについては、早い時期に広く募集をかけて、ガイド活動の期間をもう少し長く取れるとよいのではないかというのが、次回に向けた課題と考えております。

5活動の様子に写真をいくつか載せておりますが、この活動の際に、J:COMの取材が入りまして、「ジモトトピックス」という番組で活動を少し取り上げていただきましたので、その様子をスクリーンのほうで御覧いただきたいと思います。

〔動画視聴〕

○平井文化財課主査 報告は以上でございます。

○安間教育長 只今報告が終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はございますか。

○伊東委員 御説明どうもありがとうございました。すばらしい取組だと思っておりまして、先ほど参加へのハードルを下げるというような御提案もあったので、できる

だけ多くの子どもたちにこういった体験をさせてあげたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。あわせて、子どもたちの中には、英語以外の言語、例えば、中国語であったり、韓国語であったり、その他の言語が使える子どもの中にはいるのではないかと思います。英語という言語に特化するのではなくて、外国人というのは英語圏の人たちだけではなくて、多様な国の人たちがいるということもやはり子どもたちには分かってもらいたいと思いますので、そのような意味で、もう少し多言語化的な考え方を、こういったボランティアの中に入れていただけると、要するに、子どもたちの中にそういった外国人イコール英語が使える人というような認識にはならないようにしてもらえるとありがたいと思っております。

以上です。

○安間教育長　ほかにございましょうか。

○田中委員　すばらしい活動だとすごく感じました。9月の会議に私が参加していなかったので質問が重複してしまうかもしれないのですが、これは初めての取組ということなのでしょうか。

○平井文化財課主査　そうです。今年度が初めての取組なので、今回はスモールスタートというか、募集なども限定して始めました。

○田中委員　とても大変な中でも、子どもたちにとって、例えば、学んだものを生かせる場所があるということがとても良い目標になって、そしてこの中にも書いてありましたけれども、自分たちの地域のことを知るきっかけになるなど、もう良いことづくしだと感じるのですが、中学生・高校生の募集ということですが、大変かもしれないのですが、小学生の高学年の子たちが言葉を話せなくても、何かお手伝いする、ボランティア精神を養うなど、そこに触れることによって「私たちもやってみよう」という何か意欲が湧くような感じがするので、年齢の幅が広がると大変かもしれないのですが、そのようなことも今後チャンスがあると、もし自分の子どもだったら英検2級ではなくても、「ちょっとやってみよう」ということを言えるのかかもしれないと思って聞いていました。

あとはやはり、募集が結構ハードルが高いので、人数ももう少し幅があると、ハードルが下がると良いと思って聞いていました。

以上です。

○平井文化財課主査　先ほどの多言語対応の件も含めまして、少しずつ広げて、取組を考えていきたいと思います。ありがとうございます。

○安間教育長　ほかにございましょうか。

○守屋委員　御説明ありがとうございます。皆さんとほぼ同じなのですが、子どもたちの「ガイドしたい」という、その声から本当に早い、短い期間の中で実現していたということで、まず感謝したいと思います。私が思ったことは2点で、今英語、八王子市内にもやはりいろんな国のお子さんたちが通っているというところもあって、そこが使える場というのも1つあると良いと、多言語ということが1点。

あと、英語というのはとても大事なコミュニケーションの1つではあるのですが、やはり今回の中では、そのボランティアというところもそうですし、あと八王子愛ではないですけども、しっかり自分たちの地元のことを勉強させてもらえるということを改めて、共生するということでも大きな効果があるかと思いますので、引き続き、来年度以降の改善点というところも挙げていただいているので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○安間教育長　ほかにございましょうか。

○田中委員　すみません、追加よろしいですか。先ほどのメディアの紹介というのも、とても多くの方の目に触れる、このすばらしい活動が触れるきっかけだと思うのですが、ぜひ全国的なメディアへの発信というのがあると、八王子市ってこんなすごいこと、子どもたちがすばらしい活動しているのだというのは結構広まっていくかと思いますし、そしてそれを目標に子どもたちも「私たちもやってみたい」ということが増えていくかと思うので、地元の機関からもう少し延ばしていけたらと思ったのですが、いかがでしょうか。

○平井文化財課主査　日本遺産のWEBサイトでも公開はしていますが、より多くの方に知ってもらうことが生徒たちのモチベーションにもつながると思います。ありがとうございます。

○安間教育長　田中委員も、ぜひ御援助を。

○田中委員　はい。発信させていただきます。

○安間教育長　ほかにございますか。

この20人ってぴったりの数字だけれども、20人来たのですよね。選抜したわ

けではないのですよね。

○平井文化財課主査 選抜ではなく、20人の申込みがありました。

○安間教育長 ハードルを下げるのは、とても良いことだと思いますよ。この研修会の写真を見ていると、席が空いているではないですか。だからもっと集めても大丈夫だし、ボランティアも日にちを増やせば大丈夫なのではないかと思います。ただ、多言語は少し難しいかもしれないけれども、いずれそういったこともできるようになればね、多言語の場合は申込みか何かしてもらうのがいいのかな。そのようなことも考えられるのではないかと思いますけれどもいかがですか。

○平井文化財課主査 多言語で実施する場合には、事前に言語を明確にさせていただいて、それに合わせた講師や、色々な対応の仕方が必要になってくると思います。

○安間教育長 このようにフリーでやる時は、やはり英語が私は一番だと、わざわざ日本まで来る外国の方だから、共通語としての英語はやりましょうという話なんだろうけれども、もし伊東委員や守屋委員からお話があったように、そういったその言語もというのだったら、何らかの工夫が必要かもしれないですね。いずれにせよ1年目ですから、これからどんどん発展をさせてください。そして、メジャーな地上波で流してもらえるように、それを目標に頑張ってください。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、本件も報告として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 以上で公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございましょうか。
よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、ここから非公開となりますので、傍聴の方々、大変恐縮ですが御退席をお願いいたします。

【午前10時12分休憩】